

丛书主编 王健宜

国际商务日语系列教材



国际商务 日语翻译

王健宜 魏建平 编著

南开大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

国际商务日语翻译 / 王健宜, 魏建平编著. —天津:
南开大学出版社, 2005. 1
(国际商务日语系列教材)
ISBN 7-310-02173-8

I. 国... II. ①王... ②魏... III. 国际贸易—日语
—翻译—教材 IV. H365.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2004)第 089652 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人: 肖占鹏

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

*

南开大学印刷厂印刷

全国各地新华书店经销

*

2005 年 1 月第 1 版 2005 年 1 月第 1 次印刷

880×1230 毫米 32 开本 12.25 印张 351 千字

定价: 20.00 元

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

序

随着中国改革开放的不断深入,我国与世界各国之间的国际商务活动日益频繁。在这一过程中,参与国际商务活动的团体、组织不断增加,对能够胜任这一领域工作的外语人才的迫切需求持续升温。但是,由于历史的巨大惯性,在思想意识、师资、教材等多方面因素的制约之下,我国目前的外语教育基本上还延续着以语言文学为主要内容的传统模式,培养的学生与市场的要求相差很远。

《国际商务日语系列教材》的问世,就是我们以外语教育要面向社会、面向未来、面向世界的思想为主导,在适应市场变化、瞄准市场需求,及时调整人才培养模式过程中迈出的积极探索的一步。《国际商务日语系列教材》是日语课程体系改革的先导,它会带动课程设置和教师、教法的变革,从而为日语教学本身带来革命性的变化,最终达到培养适应市场需要的合格人才的目的。

《国际商务日语系列教材》是以具有初级日语基础的学生为使用对象的专业教材,它强调实用,联系实际,注重实践,突出实效。例如,《国际商务日语函电》采用日语、英语、汉语对照的编写方法,这是因为对日国际商务函电往来不仅需要日语,也需要大量的英语,学生必须掌握与日语相对应的英语的表达方法,否则无法胜任工作;又如,《国际商务日语会话》设计了国际商务活动中各种可能出现的场景,培养学生的临场感,锻炼其实际能力;再如,《国际商务日语写作》完全按照国际商务活动的需要设计写作内容,让学生在学习过程中学会写那些

实际有用的文章。总之,我们编写这套教材,是要教给学生在激烈的市场竞争中立于不败之地的真正本领,而不是茶余饭后夸夸其谈的材料。

《国际商务日语系列教材》是在认真研究了国际商务日语人才应具备哪些能力,如何使学生通过学习和训练具备这些能力的基础上,从国际商务活动的实际出发,为实战的需要而编写的。它的着眼点是市场和学生,打破了传统的“外语教学等于传授外国语言技能和文学知识”的观念,把外语摆在国际商务专门人才必备能力的位置,把外语同国际商务活动紧密联系在一起。我们认为,外语专业学生的实际工作能力必须强调,而他们自身人文素养的形成和发展,不应该也不可能脱离实际工作。因此,国际商务外语人才首先应该是人文素养较高的人才,同时又必须是实际工作的能力较强的人才。

期望《国际商务日语系列教材》顺利的出版能为我国外语教学事业带来一股务实的新风,为我国的改革开放做出些许贡献。

主编 王健宜

2004年6月于南开园

前 言

随着中国改革开放不断深入,中日两国之间的经济贸易往来日益频繁,翻译在其中发挥着越来越重要的作用。

本书是“国际商务日语系列教材”之一,其主要特点可以概括为以下几点:

1. 注重实用。本书打破以往翻译教材从理论到理论的俗套,坚决走出脱离实际、脱离应用、为翻译而翻译的怪圈,树立为实际工作服务的思想,把理论的介绍和应用融入具体的翻译实践中。使用本教材会使学生感到“翻译可以而且必须认真学习,翻译课会给我们带来实实在在的收获”。

2. 选材新颖。本书分为“日译汉”和“汉译日”两部分,彼此之间既相互关联,又独立成篇。“日译汉”部分由十课组成,内容包括:日本的第三产业;战后日本经济概观;中日经济贸易最新动向;中国经济改革前沿报道等。每课包含课文、单词、译文、翻译技巧和翻译例句等。学生不仅可以从中学到翻译技巧,了解翻译理论,而且可以直接从课文的翻译中学到活生生的、立刻就用得上的最新词语、句子的译法,真正体现了学以致用,立竿见影。“汉译日”部分由十二课组成,容量要大于“日译汉”部分。这样的编排是出于以下的考虑:首先,中国学生的“汉译日”能力往往低于“日译汉”能力,需要加强。其次,学习外语不仅是通过外语了解外国,更重要的是使用外语这个工具介绍和宣传我们国家的情况。简言之,不仅要会用外语说外国,更要会用外语说

中国。“汉译日”课文包括我国政府发布的各项与国际经济、贸易有关的法律法规以及相关的政策。这些都是国际商务活动中非常重要的基本知识,学生应当掌握。“汉译日”每课分课文、译文、单词、要点等部分,让学生“学有用的、学了就要会用”。

3. 本书的两位作者不仅教学经验丰富,而且长期活跃在翻译一线,拥有大量翻译实践经验。两位作者曾经单独或合作出版多部译著,在重要外事活动中分别为李鹏、温家宝、李岚清、胡启立等党和国家领导人担任口译工作。因此,这部教材不完全出自学者之手,而是学者和译者合作、理论和实践结合的教材“新品”。

4. 本书来自教学第一线,已经在教学活动中反复使用、修改。很多学生既是本书的使用者,也是编写的参与者。其中,张哲、张赫、张晓霞、张园园、梁爽、郭敏、刘晓香、韩锐、叶玲芬等同学在资料的录入、编辑整理等方面做了大量的工作。

教材创新是教学改革的前导。希望本教材为教师、学生提供一本学以至用的好书,成为翻译实践的指南,翻译教学改革的一颗小小的铺路石子。

编者 王健宜 魏建平

2004年5月18日于南开园

目 录

序	(1)
前言	(1)
第一課 日本の第三次産業	(1)
第二課 戦後の日本経済の流れ(上)	(13)
第三課 戦後の日本経済の流れ(下)	(28)
第四課 日中経済動向	(51)
第五課 中国経済の歩み(上)	(64)
第六課 中国経済の歩み(中)	(79)
第七課 中国経済の歩み(下)	(100)
第八課 邁進する天津経済開発区	(112)
第九課 中国改革最前線	(122)
第十課 WTOと中国自動車産業	(134)
第十一課 設立外商控股、外商独资旅行社暂行规定	(153)
第十二課 国家外汇管理局关于跨国公司非贸易售付 汇管理的通知(试行)	(159)
第十三課 鼓励软件产业和集成电路产业发展若干政策	(169)
第十四課 关于设立外商投资出口采购中心管理办法	(199)
第十五課 制止价格垄断行为暂行规定	(208)
第十六課 关于贸易投资便利化	(214)

第十七课	外国投资者并购境内企业暂行规定	(236)
第十八课	进口旧机电产品检验监督管理办法	(273)
第十九课	中华人民共和国外资企业法(修正)	(290)
第二十课	内地与香港关于建立更紧密经贸关系的安排	(300)
第二十一课	金融许可证管理办法	(308)
第二十二课	关于外商投资举办投资性公司的规定	(323)
翻译练习参考答案		(349)

第一課

日本の第三次産業

一、阅读与理解

日本の第三次産業(飲食店を含む)は、1996年には、就業者総数の22.6%に当たる1,430万人を雇用し、国内総生産(GDP)の12.1%を産出した。

この業界には、従業員を千人以上を抱える総合商社や百貨店もあるが、事業所のほとんどは小さい。たとえば、1994年の調査によると、小売店(飲食店を除く)の91%が従業員10人未満で、51%が2人以下であった。卸売り業の73%も10人未満である。

ただし、全般的なトレンドとしては、伝統的な個人商店は減少しつつあり、チェーン店(コンビニエンスストアやディスカウントストアなど)が増加している。コンビニ店とディスカウント店は客集めに成功しているが、コンビに店は消費者ニーズに合わせた品揃いや営業時間の拡大、ディスカウント店は価格破壊がその要因となっている。通信販売業も普及過程にある。

日本の総合商社は、その広範な活動で世界に知られている。1990年以降、その取引は大きく落ち込んでいる。主因は輸出入取扱高の減少である。このような苦境を克服するため、各社はリストラを行い、それぞれの得意分野に経営資源を集中すると共に、単なる商品の取り扱い機能から事業の推進主体への転換を計りつつある。

日本の金融、保険業は、1996年には、従業員総数の4.2%に当たる273万人を雇用し、国内総生産の4.7%を産出した。日本の金融機関は、積極的な資金供給によって、日本の経済の発展を支えてきた。

しかし、90年代の長期景気低迷により、1997年に中堅の生命保険会社、そして、大手金融機関の証券会社及び銀行が破綻した。それまでの「金融機関の倒産はない」という神話は崩れ、金融システムへの不安が突如沸き起こった。1998年には「健全行」とされてきた名門銀行の二つも破綻し、これら両行は一時国有化による特別公的管理の下におかれた。これら両行の債務超過の実態が明らかになるにつれ、市場の不信、危機感は他の大手銀行へも向けられるようになった。事実、多くの銀行が多額の不良債権を抱え、その処理に苦慮していることも判明した。国としては、金融安定化二法を創立させ、公的資金投入などにより銀行の早期健全化のバックアップ体制を作った。今後はこの不良債権の処理を急ぐと共に市場原理を徹底し、金融機関への信頼を早急に回復する必要がある。

一方では、1997年6月に日本版ビッグバン（金融制度の抜本改革）の具体的内容とそれらのスケジュールが決まった。その第一弾として、1998年4月の改正外国為替法が実施され、金融ビッグバンが始動した。対外資本取引も原則的には自由になり、日本の金融、資本市場が「世界市場」への第一歩を踏み出した。これにより、外国の金融機関が続々と上陸してきた。これに対抗するためと国内での生き残りをかけて、国内の銀行や証券会社は、金融機関間での異業態連携、グループ間の結束強化、地域連合、外資系金融機関との提携などを盛んに実行すると共に、新商品の開発や財務体質の改善にも一層力を入れている。不良債権処理を主体とした体質強化とフリー、フェア、グローバルを原則とする金融ビッグバンへの対処如何が今後の金融機関の存続を決めよう。

日本の運輸、通信業は、1996年には従業者総数の6.1%に当たる397万人を雇用し、国内総生産の6.7%を産出した。国内輸送についてみると、1965年から1996年にかけて、旅客量は3.7倍、貨物量は3.1倍に増加した。特に自動車と航空機輸送の伸びが大きい。自動車の保有台数は、1997年末まで7159万台に達した。自動車輸送は、1996年度の旅客輸送の66%、貨物輸送の53%を占めた。航空機輸送

は旅客輸送の4.9%を担った。

鉄道は、旅客で29%、貨物で4.4%を占めているが、いずれも以前よりシェアは低下している。ただし、鉄道貨物は70年代より絶対量では減少したが、鉄道旅客は依然として増加している。なお、日本国有鉄道は1987年に地域別の7社に分割し、民営化され、JRグループとなった。

国際輸送についてみると、旅客者のほぼすべては航空が、貨物の大部分は海運が担っている。しかし、貿易品目の高付加価値化に伴い、航空貨物が伸び、1995年では金額ベースで国際貨物輸送の25%に達した。

日本の電気通信事業は、1985年に日本電信電話公社が民営化された後、相次ぐ新規参入で激しい競争時代に入っている。移動電話、データ通信など、さまざまな新しいサービスも充実してきている。特に、PHSと呼ばれる簡易型のを含めた携帯電話の普及が著しい。たま、データ通信は多くの情報を扱えるデジタル信号回線を多く利用するようになった。さらに、パソコンを使ったインターネットによる通信が急速に普及している。

郵便事業は依然として国営であるが、ファクシミリデータ電送、民間の宅配サービスなどが普及したために、この分野でも競争の原理が働き始めている。作業の効率化と料金値上げ抑制を図るため、1998年2月から7桁の新郵便番号制が始まった。

上記以外のサービス業(公務、不動産、電気、ガス、医療、芸術、美容、理髪など)は、1996年の国内総生産の43.3%を生み出し、就業者総数の28.8%を雇用している。

多様化する社会の要求に応じて、常に新しい事業が誕生している。たとえば、女性の社会進出に伴い、従来主婦の仕事とされた家事労働を肩代わりする会社が次々に生まれている。たま、従来製造業などに含まれた幾つかの業務(設計、研究、情報処理など)が拡大、複雑化し、効率性と経済性などの観点から、それらの業務部門を分離してサービス会社を設立する例が増加している。

その他のサービス業で特に注目されるのは、コンピュータのソフトウェア産業である。1994年、ソフトウェア作成企業は、売上高5.2兆円を記録した。また、その他で注目されるのは、インターネット利用などの情報サービス、高齢者向けのシルバー産業など多数ある。

二、单词与词组

産出する(创造、产出)	国内総生産(国内生产总值)
抱える(拥有、有)	小売店(零售店)
卸売り業(批发业)	トレンド(趋势)
チェーン店(连锁店)	コンビニエンスストア(便利店)
落ち込む(衰落)	ニーズ(需求。需要)
ディスカウントストア(打折店)	結束(团结)
取扱高(业务额。业务量)	リストラ(裁员。人员整理)
崩れる(崩溃)	ビッグバン(金融改革)
外国為替(外汇汇率)	ソフトウェア(软件)
フリー(自由)	フェア(公平)
グローバル(全球化)	シェア(市场份额)
データ通信(数据通信)	シルバー(银色。老人)
業態(企业状态、形态)	7桁(七位数字)
デジタル信号(数字信号)	売上高(销售额)

三、翻译与表达

- 原文:日本の第三次産業(飲食店を含む)は、1996年には、就業者総数の22.6%に当たる1,430万人を雇用し、国内総生産(GDP)の12.1%を産出した。この業界には、従業員を千人以上を抱える総合商社や百貨店もあるが、事業所のほとんどは小さい。たとえば、1994年の調査によると、小売店(飲食店を除く)の91%が従業員10人未満で、51%が2人以下であった。卸売り業の73%も10人未満である。

译文:日本的第三产业(包含饮食店),1996年雇佣了1430万人,占

当年就业者总数的 22.6%, 产值占国内生产总值 (GDP) 的 12.1%。在这一业界里, 虽然也有拥有千人以上从业人员的综合商社和百货商店, 但绝大多数的企业单位规模都很小。例如, 据 1994 年的调查, 不包括饮食店在内的 91% 的零售商店从业人员都不足 10 人, 51% 的商店在 2 人以下。批发商店的 71% 从业人员也不足 10 人。

技巧:“就業者総数の22.6%に当たる1,430万人を雇用し、…”定语句“就業者総数の22.6%に当たる”拆译并后置, 将主要内容前移。

例句:“就業者総数の22.6%に当たる1,430万人を雇用し、…”
“雇佣了 1430 万人, 占当年就业者总数的 22.6%、…”

2. **原文:**ただし、全般的なトレンドとしては、伝統的な個人商店は減少しつつあり、チェーン店(コンビニエンスストアやディスカウントストアなど)が増加している。コンビニ店とディスカウント店は客集めに成功しているが、コンビに店は消費者ニーズに合わせた品揃いや営業時間の拡大、ディスカウント店は価格破壊がその要因となっている。通信販売業も普及過程にある。

译文:但是以整体的趋势来看, 传统的个人商店一直在减少, 而连锁店, 如便利商店或折扣商店有所增加。连锁商店和折扣商店成功地吸引顾客的原因在于, 便利商店为适应消费者的需求采取了商品多样化和延长营业时间的措施, 而折扣商店则以打破价格体系、低价销售取胜。通信销售也开始普及。

技巧:“としては”通常译为“作为”, 但也可以灵活地译为“从……来看”, “就……而言”。

例句:全般の状況としては、決して楽観できない/从整体情况来看, 决不容乐观。

3. **原文:**日本の総合商社は、その広範な活動で世界に知られている。1990 年以降、その取引は大きく落ち込んでいる。主因

は輸出入取扱高の減少である。このような苦境を克服するため、各社はリストラを行い、それぞれの得意分野に経営資源を集中すると共に、単なる商品の取り扱い機能から事業の推進主体への転換を計りつつある。

译文: 日本综合商社以其广泛的活动而闻名于世。在 1990 年以后,其营业额大幅下降,主要原因是进出口额减少。为了摆脱困境,各商社正在裁减员工、集中资源从事各自擅长的业务。同时,也在谋划从单一的商品销售部门向推进事业的主体转化。

技巧: “このような苦境を克服するため”。日语中的汉语动词与名词的搭配往往与汉语不同,译成汉语时要注意。此处的“苦境を克服する”与其译为“克服困境”不如译为“摆脱困境”更符合汉语的习惯。

4. **原文:** 日本の金融、保険業は、1996 年には、従業員総数の 4.2% に当たる 273 万人を雇用し、国内総生産の 4.7% を産出した。日本の金融機関は、積極的な資金供給によって、日本の経済の発展を支えてきた。しかし、90 年代の長期景気低迷により、1997 年に中堅の生命保険会社、そして、大手金融機関の証券会社及び銀行が破綻した。それまでの「金融機関の倒産はない」という神話は崩れ、金融システムへの不安が突如沸き起こった。1998 年には「健全行」とされてきた名門銀行の二つも破綻し、これら両行は一時国有化による特別公的管理の下におかれた。これら両行の債務超過の実態が明らかになるにつれ、市場の不信、危機感は他の大手銀行へも向けられるようになった。

译文: 日本的金融保险业在 1996 年雇佣了日本全部就业者的 4.2%, 有 273 万人。创造了国内生产总值的 4.7%。日本的金融机构过去通过积极提供资金,支持了日本的经济的发展。但是,由于 90 年代以来经济长期低迷,1997 年有些骨干的生

命保险公司、大型金融机构的证券公司以及银行出现破产，以前的“金融机关不会破产”的神话被打破，对金融体系的不安突然爆发。1998年，拥有“信得过银行”美誉的两家知名银行也相继破产，被临时收归国有，置于特别公有管理之下。随着这两家银行债务超额的事实被曝光，市场的不信任和危机感也开始转向其他大银行。

技巧：“日本の金融機関は、積極的な資金供給によって、日本の経済の発展を支えてきた。”注意“によって”的译法。根据前后文的情况，“によって”表示“原因”、“手段”和“根据”，一般分别译为“由于。因为”、“通过。使用”、“依据。凭借”等。

例句：レーダによって観測する / 通过雷达进行观测。

病気によって欠席した / 因病缺席。

人によって違う / 因人而异。

天険によって対抗する / 凭借天险抵抗。

規定によって処理する / 根据规定处理。

5. **原文：**事実、多くの銀行が多額の不良債権を抱え、その処理に苦慮していることも判明した。国としては、金融安定化二法を創立させ、公的資金投入などにより銀行の早期健全化のバックアップ体制を作った。今後はこの不良債権の処理を急ぐと共に市場原理を徹底し、金融機関への信頼を早急に回復する必要がある。

译文：事实上，很多银行都拥有大量的不良债权，苦于不知如何处理的事实真相也被揭开。日本政府制定了稳定金融秩序的两部法律，通过投入国有资金建立银行支持体系，希望银行早日走出困境。今后，在尽快处理不良债权的同时，有必要彻底实施市场原理，尽早恢复对金融机关的信任。

技巧：“苦慮する”的译法。注意一般需要加译“如何”、“不知如何”等才比较通顺。可以译为“苦苦地思索如何…。苦于不

知如何…。”

例句: 対応に苦慮する / 苦于不知如何对应。

处理に苦慮する / 苦于不知如何处理。

返事に苦慮する / 苦苦地思索如何回答。

6. **原文:** 一方では、1997 年 6 月に日本版ビッグバン(金融制度の抜本改革)の具体的内容とそれらのスケジュールが決まった。その第一弾として、1998 年 4 月の改正外国為替法が実施され、金融ビッグバンが始動した。対外資本取引も原則的には自由になり、日本の金融、資本市場が「世界市場」への第一歩を踏み出した。これにより、外国の金融機関が続々と上陸してきた。これに対抗するためと国内での生き残りをかけて、国内の銀行や証券会社は、金融機関間での異業態連携、グループ間の結束強化、地域連合、外資系金融機関との提携などを盛んに実行すると共に、新商品の開発や財務体質の改善にも一層力を入れている。不良債権処理を主体とした体質強化とフリー、フェア、グローバルを原則とする金融ビッグバンへの対処如何が今後の金融機関の存続を決めよう。

译文: 另一方面,1997 年确定了日本金融制度改革的具体内容和时间表。第一炮是实施 1998 年 4 月颁布的新外汇汇率法,金融制度改革正式起步。对外资本的交易原则上实现了自由化,日本的金融、资本市场迈出了走向“世界市场”的第一步。因此,外国的金融机构相继登陆日本。为与外国金融机构抗衡,在国内求得生存,国内的银行和证券公司积极推行金融机构之间跨业务领域的联合,强化集团间团结、地区间的协作,积极与外国金融机构合作。同时,也更致力于新商品的开发和财务体制的改善。如何面对以解决不良债权为主要内容的金融体制的强化,和基于自由、公平、全球化原则的金融体制改革,将决定今后金融机构能否继续生存。

技巧:“不良債権処理を主体とした体質強化とフリー、フェア、グローバルを原則とする金融ビッグバンへの対処如何が今後の金融機関の存続を決めよう”。“…への対処如何が…を決めよう”译为“如何应对~将决定~”

例句:激しく変化している国際市場への対処如何が企業の将来を決める / 如何应对急剧变化的国际市场,将决定企业的未来。

7. 原文:日本の運輸、通信業は、1996 年には従業者総数の6.1%に当たる397 万人を雇用し、国内総生産の6.7%を産出した。国内輸送についてみると、1965 年から1996 年にかけて、旅客量は3.7 倍、貨物量は3.1 倍に増加した。特に自動車と航空機輸送の伸びが大きい。自動車の保有台数は、1997 年末まで7159 万台に達した。自動車輸送は、1996 年度の旅客輸送の66%、貨物輸送の53%を占めた。航空機輸送は旅客輸送の4.9%を担った。

译文:日本的运输通信业在 1996 年雇佣全国就业者的 6.1% 共 397 万人。创造国内生产总值的 6.7%。国内运输方面,从 1965 年到 1996 年,运送旅客量和货物量分别增至 3.7 倍和 3.1 倍。特别是汽车和飞机的运输量有很大增长。汽车的拥有量在 1997 年末达到 7159 万量。汽车运输在 1996 年占旅客运输的 66%、货物运输的 53%。航空运输也分担了旅客运输的 4.9%。

技巧:“倍”与“增加する。増える。増やす。増す。なる”等连用时要注意数量关系。“3.1 倍に増加した”中的“に”表示从原来的水平增加后达到的水平,因此不是“增加了 3.1 倍”,而是“增加至 3.1 倍”。所以,应译为“增加了 2.1 倍”或“是以前的 3.1 倍”。

例句:国内総生産は5 年前の2 倍に増加した / 国内生产总值比 5 年前增加了 1 倍。